

## 第7回都市経営会議 平成27年(2015年)7月13日(月)開催

### 1 宝塚市教育大綱の策定について(報告)

【提案】 企画経営部

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 大綱の期間について  
→ 教育振興基本計画の理念や基本的な方向性は平成32年度まで変わらないため、大綱もそれに合わせている。

### 2 宝塚市固定資産台帳整備に係る方針及び方針の基本的考え方について

【提案】 企画経営部

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 固定資産台帳整備のスケジュールについて  
→ 固定資産台帳整備はできるだけ前倒しで行い、それを元に財務書類の作成を行っていく。
- ・ 固定資産税非課税、また減価償却の考えもない中、財務諸表を作成する意義について  
→ 現在は、現金主義会計であるため、客観的な数値で把握していく必要がある。発生主義会計で「見える化」して、予算の判断や事業の取捨選択を行っていく。
- ・ 市が保有する資産は、道路や学校など現金化が難しい資産が多いにもかかわらず、地方公会計を進める必要があるのか。  
→ インフラを含め、全体のコストを把握する必要がある。市有建物については統廃合のマネジメントを行っていく。
- ・ P1「公共施設マネジメントの活用」は「公共施設マネジメントへの活用」ではないのか。  
→ 「公共施設マネジメントへの活用」へ文言を修正する。
- ・ 地方公会計の統一的な基準とは  
→ 総務省で新たに統一した方式が示されたため、それに従って作成する。

### 3 宝塚市立中央公民館の整備計画について(報告)

【提案】 社会教育部

【結果】 承認

【質疑等】

- ・ 国の社会資本整備総合交付金については、地方創生の流れを受けて削減される恐れもあるので、それも想定したうえで事業計画を策定していくこと。  
→ 財政面を含め、十分調整して進めていく。
- ・ 今後の課題(5)の「計画敷地外での駐車場整備の検討」は、B案で提示した台数以上を確保することであれば、その費用の試算は行っているのか。  
→ 駐車場の位置図は確定ではなく、候補地を示したものである。駐車場の不足分については、将来的には、NTN(株)跡地での確保を検討していく。
- ・ 末広中央公園内の駐車場増設は、都市計画変更にあたるのか?  
→ あたらないと考える。
- ・ 開館時期を早くするために、NTN(株)跡地ではなく勤労市民センターの敷地内を選択した経緯がある。建築工事スケジュールがNTN(株)跡地利活用のスケジュールより遅いのであれば、理由について整理しておくこと。
- ・ 平成28年度から約3年間は、NTN(株)跡地利活用と本庁舎駐車場の整備が始まるので、駐

車場の確保が厳しくなる。各部署と調整しながら工事を進めていくこと。

- 今後の課題はシンプルにすべき。また、B案で提示した台数以上の駐車場の整備を勤労市民センターの敷地内で行わないのであれば（5）は必要ない。
  - 今後の課題（2）（4）（5）を削除する。
- 建築工事費等の約16億円について
  - 基本設計での概算費用である。実施設計において内容の精査を行い、費用を削減していく。